

## おおきくなるって どんなこと？

今回は、京都女子大学教授、黒田義道先生が教育誌「ないおん」で紹介された一冊の絵本を紹介させていただきます。

『おおきくなるっていうことは』（中川ひろたか・文/村上康成・絵）



さあ、大きくなるってどんなことでしょうか？

絵本にはこんな事が描かれています。

「これまで着ることができた洋服が小さくなることもそうですね。だんだんと泣かなくなること、おもしろいことをどんどん見つけられること、などなど」、子どもの心と体の成長がとてもユーモラスに描かれています。

そして、最後に「おおきくなるっていうことはちいさなひとにやさしくなれるってこと！」と描かれています。

また作者は、自分より年少の子どもだけではなく、たとえば、年齢に関係なくお母さんやお父さんが病気になった時などにいたわり、やさしくできるとなども描いているように感じます。

さて、私たち人間はいくつになっても仏さまのように、いつも人にやさしくはできません。分け隔ての末に悩むこともあります。

人間はいくつになっても仏さまから見れば、ずっと「ちいさなひと」のままに違いありません。

私たちは、どんな時でも決して見放さない仏さまのやさしさに感謝し、お子様と共に育っていきたくと願います。

理事長